



のぼる しくら登県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県議会議運副委員長に就任し手腕発揮

幕張海浜公園を親水公園に

要望

千葉市花見川区特集

◆県議会一般質問◆

政令市・千葉市の都市政策や教育、医療、環境問題について市民のための県政改革を進める穴倉登(しくら)のぼる(県議)千葉市花見川区選挙区選出は、4期目に入り、県議会最大政党の自民党の県連の中でも発言力が増し、中堅として重厚な存在感を見せています。7月には議会運営委員会の副委員長に就任、県議会の円滑な運営をするためのサポートとして政治手腕をみせています。

6月県議会では一般質問に登壇。「幕張新都心について」質問、拡大地区の未利用地の見直しや幕張海浜公園の要望をしたほか、「がん患者の緩和ケア」や「消費者行政の充実」を求めて施策を提言しました。質疑を1・2面で特集します。



幕張新都心は横浜、臨海と競争へ

穴倉 幕張新都心について。文教地区未利用地マスタープランが策定されたが、どのような街が作られるのか。知事 千葉としては、負けないように横浜にない魅力を出していくことが大事です。千葉市と協力しながら県も力を出していきます。

企業庁長 街づくりの基本理念を「輝く人と街並みが融合する国際性豊かな街づくり」として、文教機能をベースに計画戸数約4千戸の居住機能や業務・商業機能を新たに取入れるなど、多様な機能の集積を図ります。

具体的には、新しい街を特徴づける公園を中央に配置、取り巻く形で沿道型商業施設や様々なニーズに対応した住宅など、多様な都市機能を導入し、人、モノ、情報の国内外の交流が活発な街の実現を目指します。

穴倉 拡大地区の未利用地について、どのような土地利用の見直しを検討しているのか。

企業庁長 拡大地区に保有する約18分の分譲用地は、東京都心や成田空港からおよそ30分で到達可能という

という好条件のもと、大規模開発が可能な事業用地として、きわめて貴重な土地であり、早期の有効活用が望まれます。このため、現在、分譲を一時中断して、幕張新都心が有する国際業務機能の一翼を担いつつ、業務・コンベンション関連産業をはじめとして、商業・アミューズメントなどの多様な機能の立地・集積が可能となるよう、千葉市の協力を得ながら土地利用の見直しを進めています。

穴倉 今後、幕張メッセの競争力を強化するため、県としてはどのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 平成18年度から指定管理者制度を導入し、より柔軟な管理・運営で、主催者等の利便性の向上に努めているところです。より多くの見本市や国際会議等が開催されるよう、現在も積極的に誘致に努力しているところですが、引き続き競争力強化に取り組んでまいります。

要望 穴倉 展示場が空いているときに常設展示を行ったり、屋根にソーラーパネルを貼るなど事業

①これまでの新都心のグリードを保ちながら、新しい考えを取り入れ、いろいろな要望に答えられる、文教地区のマスタープランに基づいた街づくりをして欲しい。

②平成24年収束予定の企業庁については、幕張新都心、ニュータウン、内陸工業団地はそれぞれ状況が違うので、幕張新都心の後継組織については、MM21や臨海副都心と地域間競争ができるような組織にして欲しい。

③幕張海浜公園は、親水的な公園にし、人々がそこに行くと海に接することができる公園にして欲しい。

県政や市政についてあなたの声を聞かせてください!

しくら登県議プロフィール

○経歴○

- 昭和24年11月 千葉市花見川区に生まれる
- 昭和50年3月 明治大学法学部卒業
- 昭和58年4月 千葉市議会議員に初当選(3期連続当選)
- 平成7年4月 県議会議員に初当選(4期連続当選)

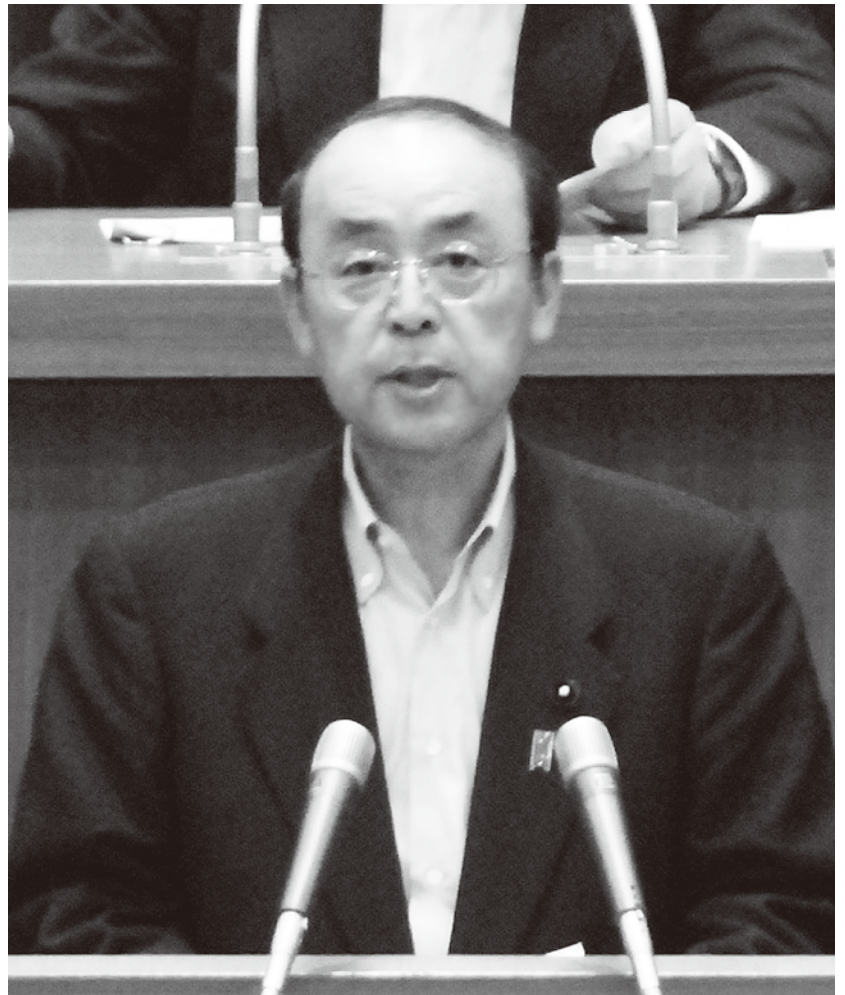
○現職○

- 県議会 議会運営委員会副委員長
- 県議会 総務常任委員会委員
- 党県連 広報本部長
- 千葉市花見川区サッカー協会会長
- 幕張中学校区青少年育成委員

しくら登 後援会 〒262-0032 千葉市花見川区幕張町3-892
 事務所 TEL043-271-0606
 FAX043-271-0605

高齢化率全国 2 位の千葉

がん緩和ケアの充実を



6月県議会の本会議場で質問する宍倉 登県議

地域と連携、家族の負担軽く

宍倉 がん対策について。「千葉県がん対策推進計画」は、どのような考えに基づいて策定されているのか。

知事 千葉県は埼玉県について、全国第2位のスピードで高齢化が進んでいます。そうした中で、30%の方ががんで亡くなっています。国の政策ではメタボの方が今、施策の重点となっていますが、県では特にメタボと同程度にがんについても考えて推進計画として位置

つ けたことを申し上げます。本県では、全死亡者の3割を超える方が、がんで亡くなっています。千葉県では、がん対策推進計画を作るうえで、まず自らの命を懸けて、がんと闘っている患者さんご自身の声を伺うことから始めました。「痛みを和らげる緩和ケアの充実をしてほしい」、「患者同士が集える場所が病院に欲しい」、また「がんと向き合いながら、自分らしい生き方

が できた」という力強い意見もありました。こうした声を伺うなかで、がん医療を考へることは人間の「生と死の尊厳」を考へることであるとの思いを強くしました。

こ うした経過を経て、がん患者とその家族の視点を尊重し、医療、看護、福祉等の関係者の総力でがんに向かい「ちからを合わせ、がんを打ち克つちば」を基本理念とする計画を策

定しました。計画では、がん患者とその家族のこころのケアを重視し、がん体験者自身が相談業務にあたるピアカウンセラーの育成、住み慣れた地域で過ごすための在宅緩和ケア体制の整備、がん診療連携拠点病院の機能と連携の充実などを、重点的な施策として盛り込んでいます。

宍倉 がん患者が、住み慣れた地域で過ごすための在宅緩和ケアの充実には、どのように取り組んでいくのか。

知事 在宅緩和ケアは、手術や様々な治療の手立てを尽くした後も、がん患者が、住み慣れた地域で、からだの痛みや不安を和らげ、最後まで、安心してその人らしく生きることができるよう支援をするものです。

こ の支援は、かかりつけ医や訪問看護ステーションなどの在宅緩和ケアの担い手が必要知識を持ち、十分連携して提供することによって、その効果を発揮するものです。

高齢者、若者に配慮した消費者行政を

宍倉 消費者行政の推進を図るため、県ではどのような取り組みを行っているのか。

環境生活部長 社会経済情勢が急速に変化するなかで、消費者が安全・安心な生活を送るためには、多様化する消費者相談に迅速かつ的確な対応を図るとともに、消費者自身が必要な知識や判断力を養うことが重要です。

宍倉 県では、相談体制の充実を図るとともに、

①消費者の自立支援のため、消費生活指導員による講座の実施

②市町村の職員や相談員の資質向上のための研修

③県と市町村との情報共有、及び消費者への迅速な情報発信

④不当な取引行為や表示を用いた悪質事業者等への指導などに取り組んでいます。

さらに、消費生活の安定及び向上に関する施策を総合的に推進するための基本計画の策定に着手したところであり、消費者行政の一層の充実を図ります。

要望 宍倉 消費者行政の推進に当たっては、高齢者等に配慮すること、及び、消費者教育の充実を図ることを要望する。消費者、とりわけ高齢者、若者に対する消費者教育を充実させるための対策をお願いしたい。

要望 宍倉 がんの緩和ケアは、家族にとっても大変な負担となることから、緩和ケアのネットワーク化をして、患者、家族と地域社会が連携して負担が軽くなるように対策をしていただきたい。

要望 宍倉 がんの緩和ケアは、家族にとっても大変な負担となることから、緩和ケアのネットワーク化をして、患者、家族と地域社会が連携して負担が軽くなるように対策をしていただきたい。

幕張長作線を早期に

要望 宍倉 幕張長作町線内陸部への幹線道路であり、地元千葉市からの県への最重要要路事項である。早期整備を要望する。

財源不足への懸念を表明

県議会自民党代表質問

6月定例県議会で最大会派の自民党からは皆川輝夫議員（鎌ヶ谷市選出、四期目）が代表質問に登壇しました。

皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。

また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。

千葉県花見川区特集 ◆県議会一般質問

花見川区のために……

県政を変えます。

ししくら登県議